資　料　提　供
令和８年11月４日
課　名　環境政策課
担当者　秋山
電　話　082-513-2912
内　線　2910

医療・介護の現場から「健康を守る窓断熱」を提案

～医療法人あかね会と連携し、医療・介護の現場から窓断熱を提案する実証を開始～

広島県は、住宅の省エネルギー化と健康で快適な住環境づくりを推進するため、「『窓断熱』でもっと健康プロジェクト」の一環として、医療法人あかね会と連携した実証を 11 月４日から開始します。

本実証では、手すりの設置や段差解消など、介護保険を活用した住宅改修を検討する機会を捉え、在宅生活を支援する医療・介護専門職から利用者やその家族に対し、住まいの温熱環境と健康の関係や窓断熱のメリットを伝えることで、断熱改修の検討につなげます。

株式会社 HAPROT 代表取締役・作業療法士の満元貴治氏の監修のもと、一般社団法人広島県作業療法士会の後援を受け、医療・介護の現場を通じた新たな普及手法の有効性や課題を検証します。

本事業のポイント
①　省エネルギーだけでなく、健康・快適性の観点から窓断熱のメリットを発信します。
②　介護保険を活用した住宅改修の機会に、医療・介護専門職から利用者やその家族へ情報提供を行います。
③　利用者の反応や断熱改修の検討状況等を把握し、他の医療・介護機関への展開も見据えた効果的な普及手法を検証します。
④　県が医療法人や作業療法士会と連携し、医療・福祉の現場から断熱窓の普及に取り組むモデルは、全国に先駆けたものです。

1　背景・目的

- 窓の断熱性能を高めることは、冷暖房効率の向上による省エネルギーや二酸化炭素排出量の削減、光熱費負担の軽減につながります。
- また、住まいの温熱環境は健康や日常生活とも関係しており、国土交通省が支援する調査では、断熱改修後の起床時の最高血圧の低下など、健康面に関する効果が報告されています。※
- 特に高齢者にとっては、住まいの暑さや寒さ、部屋間の温度差を軽減することが、健康で快適な在宅生活を送る上で重要と考えられます。
- こうしたことから、手すりの設置や段差解消など、介護保険を活用した住宅改修を検討する機会にあわせて窓断熱に関する情報を提供し、省エネルギーと健康・快適性の両面から断熱改修の普及を図ります。

※出典：「断熱改修等による居住者の健康への影響調査 第３回中間報告」（国土交通省スマートウェルネス住宅等推進調査委員会）

2 「『窓断熱』でもっと健康プロジェクト」とは

○ 持ち家のリノベーションを検討する方に対し、医療・介護専門職を通じて窓の断熱改修を提案する取組です。介護保険を活用した住宅改修の機会に、健康維持の観点から窓の断熱改修を提案できるよう、医療・介護専門職と住宅事業者をつなぐ仕組みづくりを進め、将来的な県内への展開を目指します。

3 実証の概要

○ 医療法人あかね会で在宅生活を支援する職員が、介護保険を活用した住宅改修を検討する利用者やその家族に対し、住まいの温熱環境と健康の関係、窓断熱によって期待される効果、補助制度等について、パンフレットを活用して説明します。

○ 窓断熱に関心を持った利用者に対しては、必要に応じて工事や補助制度に関する相談先の情報を提供し、断熱改修の検討につなげます。

○ 実証を通じて、情報提供を行った件数、利用者の関心や反応、相談の有無、断熱改修の検討・実施状況等を可能な範囲で把握し、医療・介護専門職による普及手法の有効性や課題を検証します。



【留意事項】

・窓の断熱改修は介護保険による住宅改修費の支給対象外ですが、一定の要件を満たす場合、国や県の補助制度を活用することができます。

・本実証は、窓断熱の普及に向けた情報提供を行うものであり、医療・介護専門職による特定の施工事業者の紹介・あっせんや営業活動は行いません。

・パンフレットに掲載する相談先は、本プロジェクトの協力団体であり、県が特定の施工事業者を推奨するものではありません。

4 窓改修にかかる補助制度

○ 断熱窓への改修については、国の「先進的窓リノベ 2026 事業」（上限 100 万円／戸）と、広島県の「家庭におけるエコ窓普及促進補助金」（上限 9 万円／戸）を併用し、一定の要件を満たす場合、合計で最大 109 万円の補助を受けることができます。

○ 県の補助金は、国の「先進的窓リノベ 2026 事業」の交付決定を受けた工事を対象とし、補助額は国の交付額の 3 分の 1 又は 9 万円のいずれか低い額です。

○ 補助対象工事は令和 8 年 12 月 31 日までに完了するものとし、県補助金の申請期限は令和 9 年 1 月 31 日です。ただし、予算の上限に達した場合は、期限前に受付を終了します。

○ 補助額は工事内容や補助要件等により異なります。

5 連携体制

団体	役割	内容
広島県	施策推進	窓断熱、補助制度及び健康で快適な住環境づくりの普及啓発
株式会社 HAPROT	監修	住環境と健康に関する知見を生かし、本施策及び啓発パンフレットを監修
一般社団法人 広島県作業療法士会	後援	住環境や生活を支援する作業療法士の立場から、本施策を後援
医療法人あかね会	実証連携	在宅生活支援を通じた利用者への説明及び実証への協力

株式会社 HAPROT	広島県作業療法士会	医療法人あかね会

○ 株式会社 HAPROT は、医療専門職の視点から住環境づくりに取り組む企業で代表取締役・作業療法士の満元貴治氏は、住宅内事故の予防や身体状態の変化への対応を考えた住宅の評価基準「安全持続性能®」を提唱しています。
○ 広島県作業療法士会は、県内の作業療法士で構成される専門職団体で、住環境や生活の視点から本施策を後援しています。作業療法士は、心身の状態や生活環境を踏まえ、日常生活の動作や社会参加を支援する専門職です。
○ 医療法人あかね会は、土谷総合病院や阿品土谷病院をはじめ、28 の医療・福祉施設を運営しています。病院・診療所での医療に加え、訪問看護、居宅介護支援、訪問介護、デイサービスなどを通じて、地域の人々の療養と在宅での暮らしを支えています。

5 今後の展開

本実証を通じて、医療・介護専門職による情報提供が、利用者の窓断熱への関心や改修の検討にどのようにつながるかを把握するとともに、実施上の課題を整理します。

その結果を踏まえ、他の医療・介護機関への展開や、介護保険を活用した住宅改修の機会を捉えた効果的な普及手法を検討し、家庭の省エネルギー化と、県民が健康で快適に暮らせる住環境づくりにつなげていきます。

【本事業に関するお問い合わせ先】

広島県 環境政策課 ネット・ゼロカーボン社会推進グループ（担当：橋本、増田)

TEL：082-513-2912　　メール：kankansei@pref.hiroshima.lg.jp